

仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例施行後の取組み等について

1 相談体制の整備等

(1) 相談体制の拡充

①各区障害高齢課に差別に関する相談を含む総合相談に対応する相談員を配置。
(各1名, 4/1～)

②差別相談に関する相談ダイヤルでの受付の開始 (4/1～)

③相談件数 (H28.9 月末現在) (単位: 件)

受付先	身体障害	知的障害	精神障害	不明等	合計
相談ダイヤル等	9	1	9	1	20
各区障害者差別担当相談員	17	2	16	4	39
委託相談支援事業所	(上半期の相談事例について照会中)				
合計	26	3	25	5	59

※相談者が直接の対応を望まない相談、差別にはあたらないと思われる事案等も含む。

④相談内容等

生活分野	相談内容等
福祉サービス	・重複障害のある利用者の障害福祉サービスの利用に関する相談。
医療	・精神障害の方の市民検診受診にあたって、一般の病院で理解してもらいにくい。理解のある病院を紹介してもらいたい。
商品・サービス提供	・盲導犬の受け入れを拒否について (飲食店、宿泊施設) ・車椅子利用者の入店拒否について (飲食店) ・内部障害で障害者用駐車場を予約していたのに、駐車場管理人に怒られた。
教育	(障害担当部署への相談はなし)
雇用	・職場で同僚からの受入れが良くない状況があり、上司にどう相談するか等を具体的に相談できる場所を紹介して欲しい。 ・障害に理解のある就労先が見つからない。
建物・公共交通機関	・補助犬を連れてのタクシー乗車を拒否された。 ・バスやタクシー乗務員から言われた言葉に傷ついた。
不動産の取引	・入居中のアパートの近隣や管理会社とのトラブルに関する事。 ・アパートを探しに行ったが、紹介してもらえなかった。
情報提供・意思表示	・市管理施設のホームページに障害者手帳の減免について掲載していないのは、障害者への配慮に欠ける。 ・地域に新設される施設の説明会に手話通訳を求めたが、難しいと対応してもらえなかった。 ・区役所職員が訪問時、手話通訳を連れてこず、ずっと筆談で対応された。

(2) 仙台市障害者差別相談調整委員会の設置

障害を理由とする差別に関する紛争の解決を図るため、条例第20条に基づき設置。

① 日程・内容

回	開催日	主な議題等
1	4月14日(木)	・委員長及び副委員長の選出 ・仙台市障害者差別相談調整委員会について

② 委員名簿(敬称略)

委員名	所属・職名	分野等
◎大坂 純	仙台白百合女子大学教授	学識経験者
○佐藤 由紀子	仙台弁護士会	学識経験者
石野 勝美	宮城教育大学キャリアサポートセンター特任教授	教育
大瀧 正子	一般社団法人仙台市医師会理事	医療
小澤 好子	一般社団法人宮城県社会福祉士会	福祉
松前 ゆかり	宮城県社会保険労務士会理事	雇用
松本 隆一	宮城県聴覚障害者情報センター施設長	障害当事者

◎委員長, ○副委員長

③ 仙台市障害者差別相談調整委員会への申立て事案

なし

2 市民等への普及啓発・理解促進等

(1) 仙台国際ハーフマラソン「ココロン・ブース」の設置

日時・場所	内容	来場者
5月8日(日) 8:30~14:30 宮城野原総合 運動公園内	○障害者スポーツに関する展示, 紹介 ○仙台市にある障害者スポーツ団体の紹介 ○各障害特性に関する紹介 ○条例周知用チラシや事例集等の配布	119名

(2) シンポジウム「ココロン・スポーツ☆スペシャル」の開催

日時	内容等	参加者
5月29日(日) 14:30~16:30	シンポジウム『障害とともに生き生きと生きる』 ① 基調講演 【講師】 仙台白百合女子大学教授 大坂 純 氏 ② パネルディスカッション 【コーディネーター】 大坂 純 氏 【パネリスト】 ウィルチェアラグビー日本代表 庄子 健 選手 障害者陸上女子砲丸投げ世界記録保持者 加藤由希子 選手 知的障害者競泳エクアドル2015INAS グローバルゲームス銀メダリスト 山中 優輝 選手 【会場】 せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア	60名

(3) ワークショップ「ココロン・カフェ」の開催

日時	内容等	参加者
6月25日(土) 14:00~16:00	【テーマ】 『障害理解を広げるための取り組みについて考えよう』 【会場】 仙台市役所本庁舎 8階ホール	42名
7月7日(木) 14:00~16:00	【テーマ】 『障害理解を広げるための取り組みについて考えよう』 【会場】 仙台市福祉プラザ 1階プラザホール	58名
11月17日(木) 14:00~16:00	【テーマ】 『東京パラリンピックを盛り上げよう!』 【会場】 仙台市福祉プラザ 1階プラザホール	—
11月20日(日) 14:00~16:00	【テーマ】 『東京パラリンピックを盛り上げよう!』 【会場】 仙台市役所本庁舎 8階ホール	—

(4) 福祉まつり「ウェルフェア 2016」啓発ブースの設置

日時・場所	内容	来場者
10月2日(日) 10:00~15:00 勾当台広場	○条例に関する周知・啓発 ○障害理解の促進のための周知・啓発 ○障害理解啓発パンフレットや事例集等の配布 ○ココロンバッチを作ろう!	150名

(5) 市民協働事業提案制度の活用

市民局で実施している地域の課題について市民団体からの提案をもとに仙台市との協働で解決していく「市民協働事業提案制度(テーマ設定型)」のテーマとして『障害者差別解消・障害理解の促進に関するPR』を設定し、公募をおこなった。

採択事業
【提案団体】 としておきの音楽祭実行委員会 SENDAI 【実施期間】 平成28年10月1日~平成29年3月31日 【実施事業】 表現活動による障害者差別解消・障害理解の促進に関するPR事業 「TOGETHER ACTION PROJECT (TAP)」

(6) 若者による地域課題解決プログラム「仙台ミラソン 2016」へのテーマ提供

市民局が、若者の社会参加促進と将来のまちづくり人材育成を目的に実施している、若者による地域課題解決プログラム「仙台ミラソン 2016」における解決すべき地域課題として障害理解の促進に関するテーマを提供。

日時	仙台ミラソン 2016 スケジュール
8月22日(月) ~24日(水)	地域課題解決ワークショップ テーマに基づくアイデアソン、フィールドワーク等
9月~12月	チームごとの活動
2月	最終発表会

(6) 障害者差別解消に関する研修等講師派遣

日時	団体等	参加者
4月13日(水)	地区民児協会会長研修会	65名
5月9日(月)	仙台市聴覚障害者協会	30名
5月12日(木)	せんだい男女共同参画財団	52名
5月20日(水)	行政評価局 (宮城地域さわやか行政サービス推進協議会)	40名
5月25日(水)	若林区自立支援協議会研修会	20名
5月26日(木)	せんだいメディアテーク	42名
6月17日(金)	青葉区自立支援協議会のつどい	90名
6月22日(水)	シルバーセンター管理者研修	60名
6月25日(土)	盲導犬ユーザーの会研修	20名
8月18日(木)	手話通訳者研修	23名
8月26日(金)	宮城野区自立支援協議会全体会	70名
8月26日(金)	緑仙会	20名
9月26日(月)	青葉区生活衛生同業組合協議会 衛生講習会	90名
11月29日(木)	社会教育施設のボランティア向け研修(予定)	
12月8日(木)	法務局人権擁護委員向け研修(予定)	

このほか、障害福祉サービスの説明を行う支援学校説明会においても条例等についてお知らせしている。

(7) 障害者差別解消等に関する研修会の開催

日時	研修内容	参加者
8月24日(水) 13:15~14:30	雇用現場における障害者の権利擁護等に関する研修 【対象】市内の障害福祉サービス事業所を運営する事業者の管理・監督者等の職員 【講師】宮城労働局 職業対策課 地方職業安定監察官 千葉 敏磨 氏 【テーマ】『障害者雇用の現状と権利擁護について』 ～雇用の現場における障害者に対する差別や虐待について～	44名
11月25日(金) 14:00~	障害者差別解消相談支援者向け研修 【対象】障害者相談支援に従事する職員 【講師】朽名社会福祉士事務所 代表 朽名 高子 氏 (元千葉県市原圏域広域専門指導員)	

(8) 障害理解促進に関するパンフレットの作成・配布

「考えてみよう！誰もが暮らしやすいまち」

① 作成目的

障害のある人の困っていることや必要な配慮等をわかりやすくお伝えし、市民や事業者の障害や障害者に対する理解を促進する。

② 発行 平成 28 年 9 月末

③ 作成部数 50,000 部

④ 配布先 町内会（市政だより 10 月号の配布に合わせて回覧を依頼）、民生委員児童委員、市民センター等の市民利用施設、障害福祉関係団体、事業者団体等

3 庁内体制の整備

(1) 障害を理由とする差別の解消に関する庁内研修会

障害者差別解消法や本市条例の趣旨を理解し、事務事業に取り組めるよう市職員等に対し研修を実施した。

日程	研修内容	参加者
4 月 5 日（火） ～ 4 月 8 日（金）	新規採用職員研修「障害を理解するために」 対象：H28 年度新規採用職員 ・ 障害を理由とする差別と市職員に求められる対応 ・ 障害者当事者による講話 ・ グループワーク	178 名
4 月 26 日（火）	保健福祉行政職員研修 対象：健康福祉局・子供未来局・各区保健福祉センター等の H27～28 年度に初めて保健福祉行政に携わった職員 ・ 障害を理由とする差別の解消について	98 名
5 月 24 日（火）	精神保健福祉基礎講座 対象：市内の精神保健福祉関係機関に勤務する初任者 ・ 障害者虐待防止・差別解消について	72 名
5 月 27 日（金）	障害保健福祉新任職員研修 対象：市内の障害保健福祉関係機関に勤務する初任者 ・ 障害を理由とする差別の解消について	56 名
10 月 19 日（水）	障害保健福祉専門職員研修 対象：4 公所の理学療法士、作業療法士等 ・ 障害を理由とする差別の解消について	

(2) 市が実施する事業に対する手話通訳等の情報保障の実施

平成 28 年 4 月 1 日より施行した仙台市職員対応要領に基づき、仙台市が市民向けに実施する事業等において、手話通訳や要約筆記等による情報保障等の配慮の実施の推進。

(3) 庁内向け広報誌の発行

仙台市職員対応要領に基づいて事務事業にあたり、障害者に対する合理的配慮の提供等に関する具体的な事例紹介を通じて、職員の理解促進を図るための庁内向け広報誌を発行。

4 その他実施予定の事業等

(1) 障害者差別解消等に関する連絡協議会の設置

障害者差別に関する相談対応等をはじめ、相互に連携して障害者の支援を行えるよう障害者の権利擁護に関する関係機関のネットワーク構築するため、協議会の設置を予定。関係団体等への意見聴取を実施し、設置に向け調整中である。

【ヒアリング実施機関】

日程	訪問先等
7月8日(金)	宮城労働局(雇用環境・均等室、職業対策課、ハローワーク仙台)
7月21日(木)	仙台北務局(人権擁護部第二課)
7月21日(木)	宮城県障害者権利擁護センター(宮城県社会福祉士会)
8月3日(水)	宮城県警察本部(県民相談課、県民安全対策課)
8月10日(水)	仙台市社会福祉協議会 (仙台市権利擁護センター、相談支援事業所(ふらっと青葉))
9月12日(月)	宮城県患者・家族団体連絡協議会
9月13日(火)	仙台市精神保健福祉団体連絡協議会
9月15日(木)	仙台市障害者福祉協会
9月20日(火)	仙台市知的障害者関係団体連絡協議会
10月3日(月)	教育委員会(特別支援教育課)
10月3日(月)	仙台市消費生活センター
10月13日(木)	民生委員児童委員
10月18日(火)	人権擁護委員

(2) 障害理解サポーター事業

市民に障害理解を促進し、障害者が安心して暮らせる地域をつくるため、サポーター養成を行う。現在、類似事業の実施団体等への調査を行い、事業の検討を進めている。

【ヒアリング実施機関】

日程	訪問先等
7月29日(金)	障害平等研修フォーラム(障害平等研修)
7月29日(金)	神奈川県障害福祉課、障害者自立支援センター (障害者理解促進研修)
8月2日(火)	仙台市交通局経営企画課(バスちかサポーター)
8月2日(火)	仙台スピーカーズビューロー(偏見是正プログラム)
8月2日(火)	仙台市交通局業務課
8月4日(木)	仙台市ボランティアセンター、青葉区ボランティアセンター (福祉教育)
8月10日(水)	みやぎ生協
8月17日(水)	一番町四丁目商店街